

「ミライのモビリティと多様な暮らし方」

第38回リハ工学カンファレンス in 東海が2024年8月23～25日に開催されます。それに先立って、日本リハビリテーション工学協会の専門部会 (SIG: Special Interest Group) によるセミナーを開催します。

日程 ■ 2024年5月12日(日)13:30～16:00

場所 ■ なごや福祉用具プラザ・研修室 (名古屋市昭和区御器所通3丁目12-1 御器所ステーションビル3階)
オンライン参加可能(ハイブリット形式)

参加費 ■ 会員 1,000円 (不課税) / 非会員 1,100円 (消費税課税・税込) / 学生無料

定員 ■ 会場参加 30名 / オンライン 80名

お申込み方法 ■ Peatix より受付いたします



お申込み
Peatix
QRコード

東海エリアは、自動車産業だけでなく多種多様なモノづくり関連の企業や大学、研究機関が多く存在しています。移動や輸送を持続可能な手法で実現させるために、様々な取り組みや考え方の議論が行われています。障害者や高齢者を含めた、多様な人々と共に暮らす未来のために、モビリティはどうあるべきか、現在提案されている予想はどう影響するのか等、ご参加の皆様と共に理解を深めたいと思います。

【プログラム】

13:00～ 受付開始

13:30～15:00

■セミナー

- ① 車いす SIG が考える「ミライのモビリティと多様な暮らし方」小林博光氏
最近提案や発表されている「車いすまたはそれに近い乗り物」についての紹介と実現性、それを購入・利用・活用する生活について未来予想図を現状のコンセプトモデルなどをピックアップして紹介します。
- ② 乗り物 SIG が考える「ミライのモビリティと多様な暮らし方」麩澤孝氏
電動車いすユーザーとして公共交通を利用して30年、これまでの経験や変化から想像してみるミライの移動や旅行を願望も交えながらユーザーの立場から提案します。
- ③ SIG 褥そう防止装置が考える「ミライのモビリティと多様な暮らし方」新妻淳子氏
モビリティと褥瘡予防の期待される未来とは、長距離移動が当たり前になる未来に何を求めるか展望をお話します。

15:20～16:00

■パネルディスカッション みんなで膨らませよう「ミライのモビリティと多様な暮らし方」質疑応答
パネリスト:小林博光氏(車いす SIG)・麩澤孝氏(乗り物 SIG)・新妻淳子氏(SIG 褥そう防止装置)・
中村詩子氏(SIG 姿勢保持)・渡辺崇史氏(第38回リハ工学カンファレンス実行委員会)

■第38回リハ工学カンファレンス in 東海の見どころ紹介
第38回リハ工学カンファレンス実行委員会 渡辺崇史氏

■なごや福祉用具プラザの紹介と見学

リハ工学カンファレンスって？

リハ工学カンファレンスは、日本リハビリテーション工学協会が毎年1回開催しており、障害のある方のリハビリテーションを支援する機器や技術について、リハビリテーションに関係するさまざまな分野の参加者が互いに理解できる言葉で納得できるまで討論することを目的とします。

専門部会：コミュニケーション SIG・SIG 姿勢保持・車いす SIG・乗り物 SIG・SIG 自助具・特別支援教育 SIG・
SIG 住まいづくり・移乗 SIG・SIG 褥そう防止装置・義肢装具 SIG